

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇日化協主催の理科教員セミナーに協力 in 神戸

## ■随想

◇日本のお祭りシリーズ（その10） ー長崎ランタン祭りー

関東学院大学 織 朱實

## ■編集後記

## ■トピックス

## ◇日化協主催の理科教員セミナーに協力 in 神戸

一般社団法人日本化学工業協会（日化協）が取り組んでいる平成24年度2回目となる小中学校・高等学校の先生方を対象としたセミナー「新しい理科カリキュラムに対応した授業法」が、先週の日曜日（1月26日）、神戸市立青少年科学館で開催されました。今回も、日化協、日本プラスチック工業連盟、一般社団法人プラスチック循環利用協会（プラスチック協）、塩ビ工業・環境協会（VEC）が連携した「プラスチック教育連絡会」として、協力しました。

セミナー開始時点の小雨がぱらつく中、神戸市内ばかりではなく、近隣の市や大阪府、三重県から、ほぼ同数の中学校と高等学校の先生方30名の参加をいただきました。休日にもかかわらずこのような機会を利用し、新しい情報を得ようとする先生方の姿にいつも感心させられますが、中でも、朝4時起きし、茨城県水戸市から新幹線を乗り継いで駆けつけたという先生には敬服させられます。

プログラムは、まず、「気体の発生と性質」と題して、中学生に気体の概念を実感してもらえよう工夫した数多くの実験を中心に、東京都品川区立小中一貫校品川学園の山口晃弘副校長から講演が行われました。セミナーに参加の先生方に積極的に実験の補助員として協力していただきながら講演は進められ、会場の後方で拝聴していたわれわれも思わず身を乗り出して観察したくなるような、ワクワクする内容でした。次いで、「短時間でできる実験、教具の工夫～より良い授業をするために」と題して、実験を交えながら、模造紙を使ってクイズ形式や紙芝居形式の先生の長年の経験を活かして独自に工夫された教具を使った授業内容を、学校法人四天王寺学園四天王寺高等学校の田中芳和教諭が紹介されました。



山口副校長による  
「気体の発生と性質」の実験風景



田中教諭の講演風景

3つ目のプログラムとして、「身の回りのプラスチックをもっとよく知ろう！」というタイトルで、プラ循環協と共同で、2時間の枠でプレゼンを行いました。VECからの紹介内容は、プラスチックの基礎知識に関する解説と密度の実験を通してプラスチックの性質の違いを知ってもらう中学一年生を対象とした出前授業を体験していただきました。プラ循環協は、プラスチックは家庭から出る一般廃棄物の中にも含まれることから、各国のごみ収集の違いや、プラスチックのリサイクルに関する取り組みや技術の紹介やリサイクルに関連した実験例などを紹介しました。



「身の回りのプラスチックをもっとよく知ろう！」  
プレゼン風景

プレゼン終了後には、「プラスチックの密度が違うのはどうしてか?」、「プラスチックの耐久性は?」、「メッキができるプラスチックがあるというがどういう原理か?」など多くの質問をいただき、先生方のプラスチックへの関心の高さが伺われました。セミナーには、参加予定人数を上回る部数の資料を用意しますが、今回も複数の資料を持ち帰る先生がいらっしゃったり、プラスチックサンプルを送って欲しいという先生もおられました。プラスチックに対する興味や正しい知識が教育の現場に広がって行くことに、このような活動が役立っているものと感じた次第です。

## ■ 随想

### ◇日本のお祭りシリーズ（その10） —長崎ランタン祭り—

関東学院大学 織 朱實

いろいろな地方のお祭りを見てきましたが、異国情緒漂うお祭りと言えば、長崎のランタン祭りですね。もともとは、新地（長崎中華街）エリアで旧正月をお祝いするために華僑の皆さんが始めたお祭りだったそうですが、観光客が途絶えるこのシーズンにお客さんをお呼び込みたいと長崎市挙げてのイベントとなってからは、年々華やかさが増し、今では観光客が押すな押すなの大人気イベント（去年は、なんと101万人の人出）。長崎は、夜景が「世界三大夜景（モロッコ、香港、長崎）」にも選ばれ、一時は閑古鳥だったハウステンボスも経営努力で盛り返し、日本一というライトアップもありで、2月の長崎はまさに「光の王国」となっています。

今回は、波佐見町でお仕事があったので（ハウステンボスのすぐ近く）、噂のハウステンボスのライトアップを見て、それから長崎のランタン祭りを見てきました。ランタン祭りの人気が凄い！と実感したのは、ひと月前くらいだったのですが、とにかく長崎市内のホテルが取れない！なんとか市内から少し離れた山の上のホテルが取れたのですが、タクシーの運転手さんもびっくりの凄い人気です。





年々観光客が増えて、ランタンの数も増えて、街中のいたるところお祭りムードです。会場がいくつかにわかれ、中央公園広場、中華街（湊公園）広場、孔子廟会場、浜町商店街アーケードなどそれぞれ趣向を凝らした中国風のオブジェが飾られています。竜踊りや胡弓演奏、皇帝パレードなどイベントも盛りだくさんだったのですが、とにかく凄い人！人！でイベント物は近づくこともできませんでした。



ちょうど雨が降り始めたので光が雰囲気できました

いくつもある会場の中でも、特に人気だったのは、日本最古の眼鏡橋にかかる黄色いランタン。右岸には干支のランタン、左岸には金魚のオブジェで中洲には水鳥のオブジェが華やかです。

偶然、九州久留米からきているご夫婦と、夕方ランタンの灯りがともるのを待ちながらお話ししたのですが、「博多にも、いろいろお祭りがあるけど、こんな異国情緒があるお祭りはないな〜」「地元の人が、一緒に盛り上げよう」と協力しているからこれだけ大きなお祭りになったらしいですよ」「ランタン祭りがいいのは、食と灯りで、中華街で美味しいものを買い食いできる

ところね」とおっしゃっていました。確かに、角煮まんじゅう、小籠包、長崎ハトシ（すり身揚げ）屋台がいっぱい出て、食べ歩きしながら色々なランタンをひやかせるもの楽しいですね（ご夫婦には、おしゃべりしながら日本酒コップ酒やら串カツやら、いろいろご馳走になってしまいました。こういう出会いも旅の楽しさですよね）。



中華街のお祭りだったのでなんと豚の頭のお供え



湊公園広場にはいろんなオブジェのランタンがありました

さて、長崎と言えば「軍艦島」も有名です。海底炭坑掘削のために作られた人工島。もともとは、今の三分の一の面積だった瀬を、埋め立て拡張し今の大きさになったというもの。海外線1200メートルの狭い島の中に、最盛期はなんと人口5000人、日本一の人口密度になっていたそうです。学校、病院、娯楽施設もこの狭い島の中にあり、より多く収容するために日本最古の鉄筋コンクリートの集合住宅もあり、廃墟ブームで、こちらも長崎の重要な観光資源になってきています。海の上にそびえる様子は、まさに戦艦『土佐』ということで、いつのころから「軍艦島」と呼ばれるようになったそうです。



無人島になってからは、上陸許可がなければ上陸できなかったのですが、条例が制定され今ではいくつかのクルーズツアーが実施されています。お値段は、4000円くらいで、島の周りを周遊し上陸して3時間30分くらいのコース。飛行機が14時だったので、午前中さっと見てこよう！と気軽に申し込んだのですが、軍艦島はちゃんとした港がなく、実は気象条件（波が少しでもあると）により船が着岸できず上陸できるのはなんと3回に1回だそうです。ラッキーなことに、この日は波もなく上陸ができました。右手が小中学校エリア、真ん中が事務棟（赤いレンガは前日の雨で洗われたため。いつもは塩で真っ白だそうです）、奥が生活棟となっています。住宅街は、地下道や空中廊下で結ばれ雨の日も濡れないで行き来できたそうです。



日本の経済発展の基礎を支えた炭坑の歴史を実感できる貴重な遺産で、「九州・山口の産業遺産群」の一部として、世界遺産暫定リストに追加記載されることも決定し、世界遺産登録に向けて盛り上がっていました。

久しぶりの長崎でしたが、見どころが沢山で、駆け足でしたがすっかり満喫してしまいました。ブログにもアップしていますので、よろしければ見てくださいね。

⇒ [ブログはこちらです。](#)

⇒ [メルマガ・バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

いよいよ、ソチオリンピックが開催になりますね。開会式は明日の金曜日ですが、今大会から正式種目となったフィギュアスケートの団体戦が、もう今夜から始まります。やはり、寝不足になりそうな時間帯での放送ですが、そこは、4年に1度のこと応援しない訳には行きませんよね。フィギュアスケート、スキージャンプ、カーリング、ホッケーとも、女子の活躍の期待が高まり楽しみです。選手の皆さんには、メダルはもちろん目標とするところでしょうが、それぞれ、精一杯力を発揮して頑張ってくださいたいですね。4年間の努力が実りますよう、遠くから応援します！（漠）

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)